

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2004-12247 (P2004-12247A)  
 【公開日】平成 16 年 1 月 15 日 (2004.1.15)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-002  
 【出願番号】特願 2002-164810 (P2002-164810)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 C 21/00  
 G 0 8 G 1/0969  
 G 0 9 B 29/10

【F I】

G 0 1 C 21/00 G  
 G 0 8 G 1/0969  
 G 0 9 B 29/10 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 16 年 9 月 13 日 (2004.9.13)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 4 2  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 4 2】

以上のような図 7 および図 8 のような処理により、プロセッサ 11 は、ドライバの疲労度を最小にするような 1 つの経路を探索できるようになり、その結果、従来のように、ドライバがいくつかの経路候補の中から 1 つを選択する必要が無くなる。また、図 4 に示すモード登録テーブル  $T_{rm}$  を、経路探索装置 1 の起動時にワーキングエリア 13 に読み出し、その電源をオフにする直前に記憶装置 14 に待避させることにより、プロセッサ 11 は、ドライバの手を煩わせることなく、疲労度優先モードおよび距離優先モードのどちらか一方を特定すること可能となる。これらにより、より安全性を考慮した経路探索装置 1 を提供することが可能になる。さらに、ドライバの選択に合った、モードを選択できるようになるので、より使い勝手の良い経路探索装置 1 を実現できるようになる。また、経路探索装置 1 は、距離  $TD_k$  を考慮した経路探索をさらに行うことができるので、終了地点まで早くたどり着きたいというドライバのニーズに応えることが可能になる。